

# 那覇空港滑走路増設事業の概要



平成27年1月28日  
沖縄総合事務局 開発建設部

# 那覇空港滑走路増設事業

## ○ 現況

- ・滑走路 : 3,000m
- ・旅客実績 : (国内) 1,521万人、(国際) 100万人  
(平成25年度、過去最高)
- ・主要路線 : (国内) 103往復/日  
(平成27年1月) 東京(29)、福岡(20)、中部(9)、関西(12)、  
成田(6)、石垣(19)、宮古(15)等
- ・(国際) 110往復/週  
ソウル(39)、台北(33)、香港(18)等
- ・(貨物) 74往復/週  
成田(10)、上海(6)、香港(6)、広州(3)等
- ・国内LCC就航状況: ジェットスター・ジャパン(成田(3)、関西(2))  
ピーチ・アビエーション(関西(3)、福岡(1))  
バニラエア(成田(2))

## ○ 空港整備事業の概要



・総事業費: 約1,993億円

○ 平成25年度予算額 : 137億円(うち国費 : 130億円)

平成26年度予算額 : 347億円(うち国費 : 330億円)

## ○ スケジュール

平成25年 4月	新規事業化 (総理の指示で工期短縮)
9月24日	事業概要の告示 (航空法第38条)
平成26年 1月 6日	事業決定の告示 (航空法第40条)
1月 9日	公有水面埋立の承認、漁業補償締結
1月中旬	工事の着手
3月 1日	起工式典

### [今後の見込み]

平成31年 12月	工事の完了 (予定)
平成32年 3月31日	供用開始 (予定)

那覇空港位置図

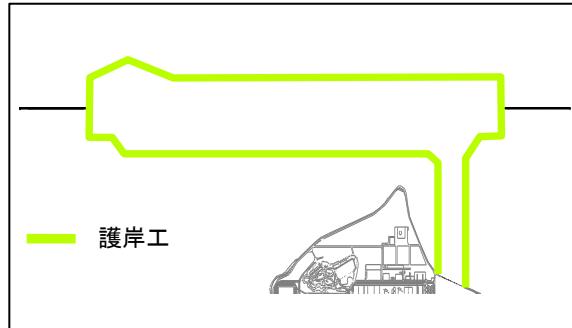


安倍総理大臣による施政方針演説  
(H26.1.24)

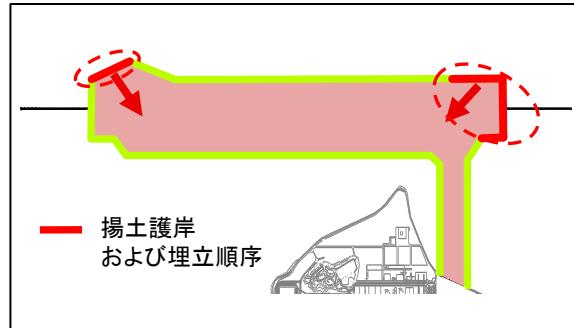
- ・アジアと日本をつなぐゲートウェイ。それは沖縄です。
- ・アジアとの物流のハブであり、観光客を迎える玄関口として、那覇空港第二滑走路は日本の成長のために不可欠です。予定を前倒し、今月から着工いたしました。工期を短縮し、2019年度末に供用を開始します。

# 施工計画の概要(その1)

## 基本的な流れ

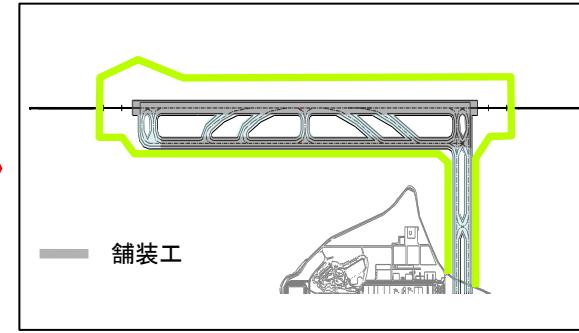


護岸工事



埋立工事

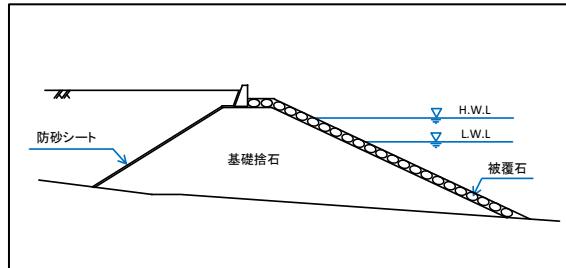
※施工箇所により、進捗の前後があります。



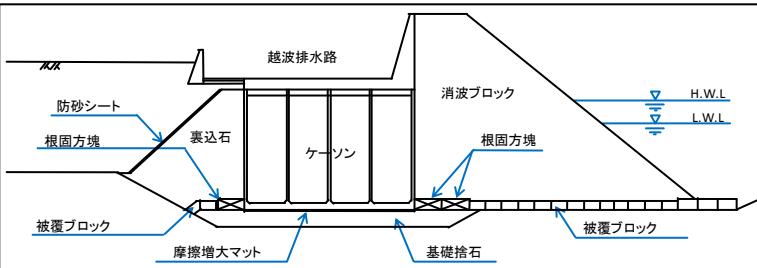
舗装工事・空港施設工

## Step1: 護岸工事

…護岸を築造し、外周を締め切る



緩傾斜式護岸(水深が浅い場所)



ケーソン式護岸(水深が深い場所)

- ・ケーソン製作 : 約60函
- ・被覆ブロック製作(2~4t型) : 約38,000個
- ・消波ブロック製作(4~50t型) : 約11,000個
- ・根固めブロック製作(5~60t型) : 約1,700個

○石材の搬入は海上輸送を基本とする。



緩傾斜護岸施工イメージ

- ・基礎捨石 : 約170万m<sup>3</sup>
- ・中詰め砂 : 約14万m<sup>3</sup>
- ・裏込め雑石 : 約13万m<sup>3</sup>
- ・海上地盤改良(SCP) : 約3万m<sup>3</sup>

護岸延長  
約8.5km

# 施工計画の概要(その2)

## Step2:埋立工事

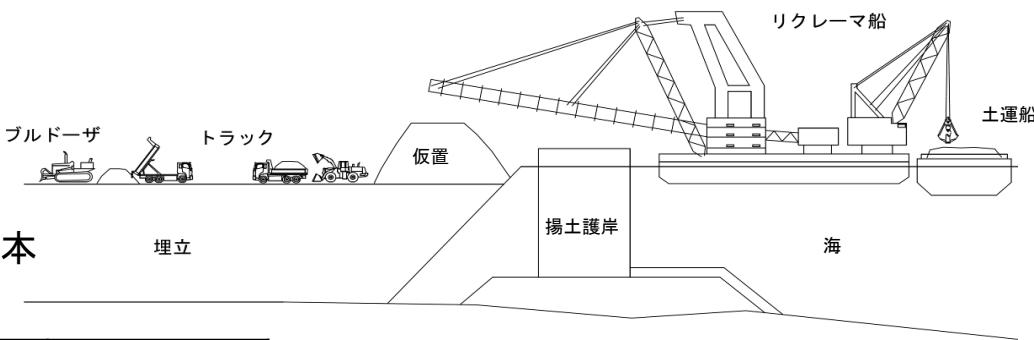
…土砂を投入

### ・埋立土の搬入方法

- ✓ 購入砂・岩づくり・浚渫土：海上輸送を基本
- ✓ 建設発生土、空港事業発生土等：陸上輸送を基本

### ・埋立土量の想定…合計990万m<sup>3</sup>

購入砂	岩づくり	建設発生土	浚渫土	空港事業発生土等
380万m <sup>3</sup>	430万m <sup>3</sup>	120万m <sup>3</sup>	30万m <sup>3</sup>	30万m <sup>3</sup>



## Step3:舗装工事・空港施設工

…埋立地上に各施設を設置

### ・舗装工…基本施設【滑走路(2,700m)、着陸帯、誘導路】

### ・航空保安施設…ILS(計器着陸装置)、PAR(精測進入レーダー) 進入灯 等

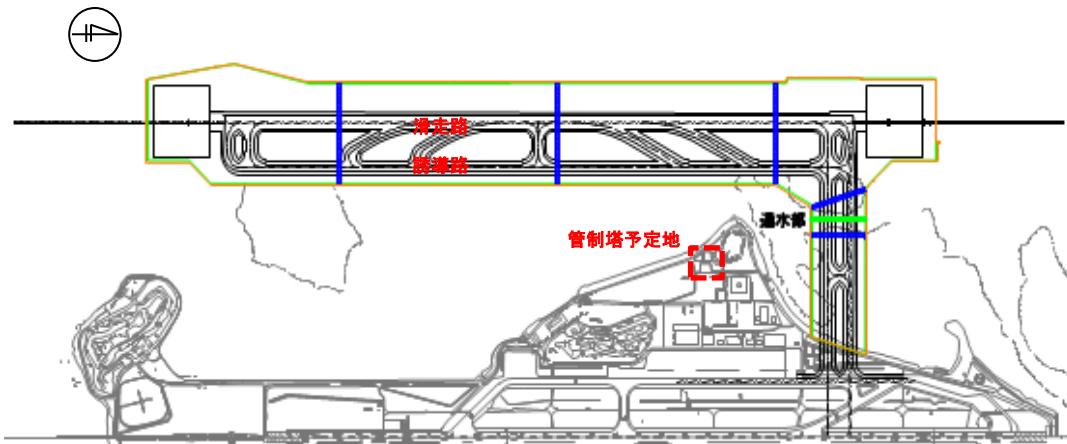
### ・建築工事…管制塔(高さ約80mを想定)、消防施設 等



滑走路への進入コースの中心から左右のずれを示すローカライザ用アンテナ(VHF帯)



適切な進入角を示すグライド・スロープ用アンテナ(UHF帯)



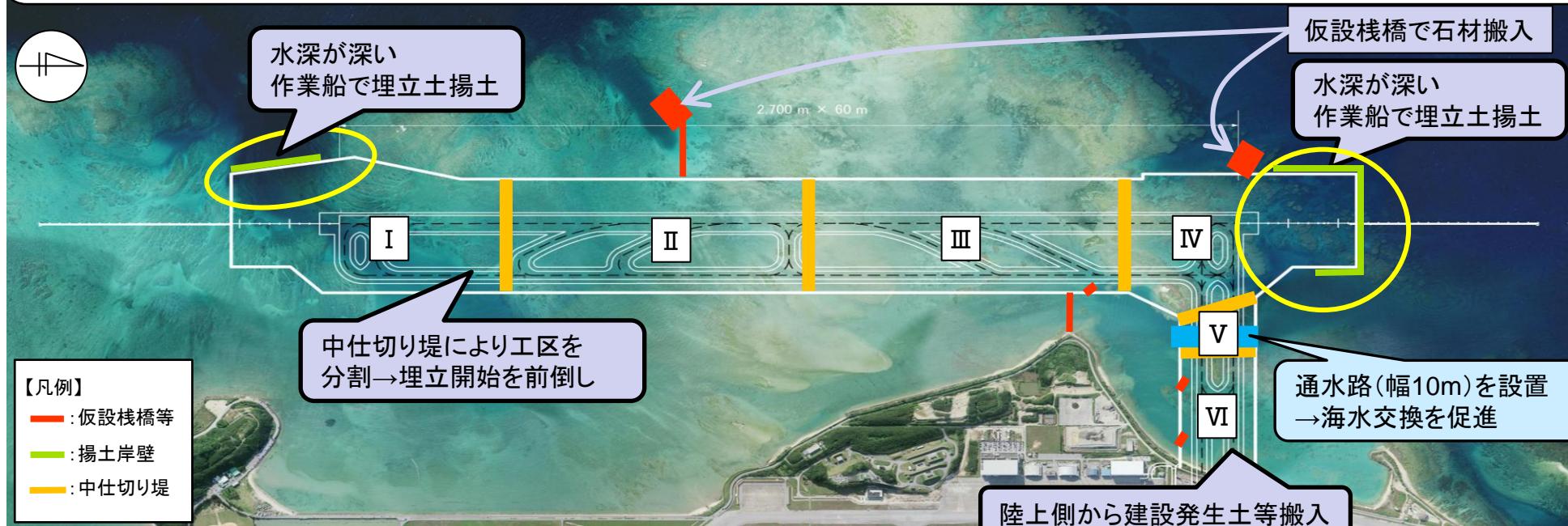
埋立工事 施工イメージ

# 施工計画の概要(その3)

## ○現地の特徴

- ①外海に面し、台風や冬期波浪等の影響を受ける
- ②水深が浅く、大型船の近接可能エリアが限定期

- ③周辺海域の自然環境への配慮が必要
- ④空港周辺にはまとまった土取り場が無い



## ○スケジュール

	H25d	H26d	H27d	H28d	H29d	H30d	H31d
護岸工事	● 締切完了			VI	III, IV, II	V	
埋立工事	← 埋立開始			VI	IV	III, I, II, V	
舗装工事							
進入灯工事等 (空港施設工)							

# 那覇空港滑走路増設事業の実施状況(海上工事)

- 現在は、仮設桟橋の整備や護岸工事を実施中

- 契約状況

- ・平成25年度 契約済13件
- ・平成26年度 契約済33件
- ・地元企業率は約4割

- 護岸8.5kmのうち、約52%は契約済。契約済延長は約4.4km。

仮設桟橋1(上空より)



仮設桟橋2工事



地盤改良工事(完了)



護岸工事



護岸概成状況(上空より)



護岸工事(捨石投入)



# 那覇空港滑走路増設事業の実施状況(陸上工事)

<平成26年12月現在>

- 糸満地区や那覇港新港地区において、護岸工事に用いるケーンソンやブロックの製作を実施
- ケーンソンは60函製作予定であり、うち12函を平成26年8~9月に、16函を平成27年1月に吊降し

## ●那覇港新港地区 ケーンソン製作ヤード



## ●糸満地区 ブロック製作ヤード



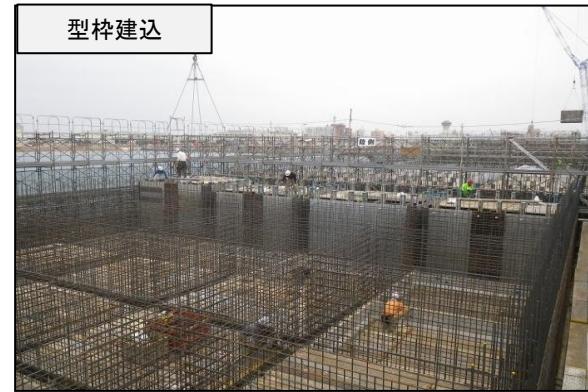
ブロック製作(近景)



ブロック製作(全景)



型枠建込



ケーンソン製作



ケーンソン吊降し



# 本部町塩川地区からの石材積出状況

- 滑走路増設事業に用いる石材は、主に本部町塩川地区から積出している。
- 塩川地区から那覇空港へは、バージ船やガット船と呼ばれる船を利用して輸送。
- 輸送された石材は、護岸工事の捨石等に利用。



バージ船での積出状況



ガット船での積出状況

# 那覇空港におけるその他の取組

- 現空港側A平行誘導路(管制塔前付近)において、誘導路改良を実施中
- 平成28年度まで、旧国際線ターミナル地区におけるエプロン拡張等により、駐機スポットを3スポット増設整備。

